

2019年9月12日

帝塚山大学 同大出版会刊行『奈良山里の生活図誌』を
9月21日(土)から開催の「絵と道具でたどる昔の奈良のく
らし」を見学の小学校に郷土教育教材として寄贈
9月21日(土)9:00～ 開会式とともに同書の贈呈式
奈良県立民俗博物館にて

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)は奈良県立民俗博物館(〒639-1058 大和郡山市矢田町545)と、**秋季特別展示「絵と道具でたどる昔の奈良のくらし ～永井清繁氏のスケッチ帖から～」**を9月21日(土)～12月1日(日)まで奈良県立民俗博物館で開催します。

本展示は奈良(大和)に暮らす人々が実際に使用してきた生活用具や民具に加え、昔の暮らしを詳細に表現した絵を通して、郷土の風俗慣習や生活用具等で生活の推移への理解を深めることを目的として開催するもので、本学文学部日本文化学科



の高田照世教授が2015年度から取り組む天理市福住の民俗調査の成果に基づき、**今回は奈良県立民俗博物館の常設展示のジオラマとともに、奈良の昔の暮らしを描いた永井清繁氏のパネルを展示**します。

また、展示会期中には、文学部日本文化学科の学生が絵に描かれた往時の扮装をして、展示解説や体験型のワークショップを担当し、子どもから大人まで幅広い世代の方々に展示を楽しんでいただけるイベントも企画しています。

この度、**展示パネルのもととなった永井清繁氏の描いた生活図を収録した『奈良山里の生活図誌 永井清繁画・解説』(高田照世 編)**を、郷土教育の教材としてご活用いただくことを目的に、**特別展示期間中に同博物館を授業で訪れる小学校(団体見学)に対して、奈良県立民俗博物館を通じて贈呈**することといたしました。現時点で社会見学を予約されている県内小学校 約40校だけでなく、これから見学を決められる小学校も対象に同書籍を寄贈いたします。

つきましては、**秋季特別展示「絵と道具でたどる昔の奈良のくらし ～永井清繁氏のスケッチ帖から～」の初日である9月21日(土)9:00～、開会式とともに同書の贈呈式を執り行います**ので、貴社メディアにおかれましてもぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本件に関する
お問合せ
発信者

帝塚山大学 広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9192 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

【開会式&寄贈式 詳細】

1)日時:2019年9月21日(土)9:00~

2)場所:奈良県立民俗博物館

3)寄贈品:

『奈良山里の生活図誌 永井清繁 画・解説』
(高田照世 編)/帝塚山大学出版会発行

4)寄贈者:帝塚山大学

5)寄贈先:秋季特別展に見学を訪れた県内小学校

6)開会式&寄贈式出席者(予定)

帝塚山大学

学長 蓮花一己

文学部日本文化学科 教授 高田照世

事務局長 多賀久彦

奈良県立民俗博物館 館長 東 秀好

**開会式と寄贈式の後、本学大学院生による展示解説を行います。
ぜひご取材いただきますようお願い申し上げます。**

【参考画像】※展示イメージおよび類似イベントを実施したときの様子



貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をくださいますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

本件に関する
お問合せ
発信者

帝塚山大学 広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel:0742-48-9192 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp



学校法人 帝塚山学園